

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターかしのき園 (指定日通園)				公表日	2026年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		・基本的に個別療育のため、十分なスペースがある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・基本的に個別療育のため、1対1では対応している。 ・こどもの状態や保護者の相談内容に応じて、職員の人数を増やす体制を取っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1		・バリアフリーではない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・職員全員で支援会議を行っている。 ・全職員でカンファレンスを行い、PDCAサイクルを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・この自己評価アンケートの結果から、改善できることを職員間で話し合っている。	・評価はおこなっているが、業務改善にどこまで繋がっているかは不明。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・週に1回カンファレンスを行い、職員間で意見を出し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		・第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・職員が希望した研修を受講するため、他の業務を他の職員がカバーできる体制を取っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・ホームページで公表し、契約の際に説明している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		・支援会議を開き、客観的にアセスメントすることを心がけている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・職員全員で支援会議をしている。 ・支援会議に全職員が参加し、共通理解を持つようにしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・職員全員で在園児の支援計画を見れるように共有している。 ・計画作成後、毎週のカンファレンスで支援の進捗状況を共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・日々記録を取ったり、週に1回カンファレンスを行っている。 ・アセスメントシートを作成することで、子どもの状況や必要な支援を客観的に把握するようにしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	・カンファレンスで適宜検討、話し合いは行っている。	・活動プログラムは設定されていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	・カンファレンスで適宜検討、話し合いは行っている。	・活動プログラムは設定されていない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	1	・個別療育を基本とし、子どもの状況と保護者の希望、空き状況に応じて集団療育を行っている。	・園としては集団療育は今年度できていない。2歳児の複数人利用が増えた際は行いたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		3	・週に1回情報共有をしている。 ・毎日行っていないが、週1回のカンファレンスで打ち合わせや振り返りをして	・毎日行っていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3	・週に1回情報共有をしている。 ・毎日行っていないが、週1回のカンファレンスで打ち合わせや振り返りをして	・毎日行っていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・毎回の療育の記録を担当職員がとり、他の職員が閲覧できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・半年に1回モニタリング、見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	・主に担当職員が参加する。	・相談室、幼稚園、保育園、事業所と情報共有できている園児は数名で全員はできていない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・必要性に応じて、連携できる体制は整えている。	・相談室、幼稚園、保育園、事業所と情報共有できている園児は数名で全員はできていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	・子ども達が普段通っている幼稚園や保育園などと、保護者の同意を得た上で、連携会議を行っている。	・一部の幼稚園や保育園等としかできていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3		・週1回の療育で、主な通園先ではないため、小学校等の進学先との情報共有は行っていない。必要があれば可能。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	2	1	・利用児が普段通っている幼稚園・保育園などに訪問するなど、連携はしている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	・職員の希望に合わせた研修に参加することができている。	・専門機関から助言を受ける機会があまりない。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	2	・センター内の職員が参加し、その報告を受けている。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		・基本的に幼稚園、保育所等に通っている利用者のため、事業所としての交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・親子同室療育のため、家庭や幼稚園・保育所等の様子、成長したところなどの話をしている。 ・療育中に気づいた子どもの状況や課題を随時保護者に伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		・研修会などはしていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・契約時に説明をしている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		・半年ごとに支援計画の見直しを行い、保護者に丁寧に説明する。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・親子同室療育のため毎回の行っている。 ・欠席時や療育中に言いにくい内容の時は、電話でも相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		・現在は設けていない。 ・保護者同士が交流する機会を今後設けたいと考えている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・親子同室療育のため、保護者が担当職員と1対1で話す時間を取りたい時には、他の職員が子どもを見るようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		3	・法人のホームページ、パンフレットに事業概要や利用についての案内は掲載している。	・外部イベント等は掲示板にポスターを貼るのみ。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・契約時に個人情報取り扱いについて説明し、その内容を遵守している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		・現在はそのような活動はできていないが今後検討したい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		・マニュアルの周知はできていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		3	・策定はしている。	・指定日通園としての訓練はない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	1	・契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		1		・食事提供はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2	・部屋の安全は都度確認している。	・マニュアルに沿った安全点検はしていない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		3		・保護者への詳細周知はできていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・危険が予測できる時には、すぐに改善するようにしている。 ・カンファレンスで検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・法人全体で虐待防止研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		3		・指針は策定しているが支援計画への記載等はしていない。 ・親子同室療育のため身体拘束を行うことがない。	